

健康ってAなあ新聞

責任編集
長谷川勝士
(はせがわ 鍼灸院)

1950年生まれ・姫路市出身
駒澤女子大学非常勤講師
(コミュニケーション論)
鍼灸師(全日本鍼灸学会会員)
放送作家(日本放送作家協会会員)
プロデューサー(町おこし・都市開発)



イラスト：
こまいちかこ

楽しい仕事と苦しい仕事

ゲートは1786年にイタリアに渡り、その地で驚くべきものを見た。

それは、楽しみに働く人々の姿であり、カルチャーショックを受けた彼は「イタリア紀行」に「イタリア人は楽しむために働いており、労働をしているときでも生活を楽しもうとしている」と書いた。

労働・仕事のことをイタリア語で「オペラ」という。まるで歌い踊り出さんばかりに働く当時のイタリアの人々に天才・ゲートもビックリしたのだから。

そこで、年末特別企画として(?)今年もテレビなどで活躍した日本の三大タレントの仕事ぶりを精神分析して、「楽しい仕事・苦しい仕事」を考えてみたい。

精神分析で見ると

三天タレントの仕事

明石家さんまは「ペルソナ」



明石家さんま
(杉本高文)
奈良県出身
タバコは1日100本
(ひっきりなしに吸う)。ただし、吸っている間もずっと喋っている。お酒はビールを少々。ただし、飲んでる間もずっと喋っている。睡眠は3~5時間。ただし、寝る直前まで喋っている。趣味はスポーツ観戦。笑いへの執念が深く、非情な一面もある。病名=ペルソナ。

とにかく、打ち合わせでも本番でもひっきりなしにタバコを吸いながら喋り続けるさんまさん。彼の「笑い」への執念はスゴイ。酔った担当プロデューサーがいつも同じギャグを飛ばすのだが、さんまさんは例の引きつった笑いで転げまわってウケる。スタッフが気を使い「なぜ、面白くもないギャグをそんなに笑うのですか?」と聞くと「世の中から笑いが一つでも消えたらソンやないか」と言っていたというエピソードがある。それについて、

気の抜けたタレントやスタッフには「あいつはもうエエ」とスパッと切る冷酷さも持つ。「ペルソナ」とは仮面の意味で、仮面をかぶり様々な役割を演じるギリシャ劇のこどもでもある。さんまさんはいろんな「さんま」という仮面をかぶり「さんま自身」を演じて続けているのである。

タモリは「ご隠居」(バーンアウト)



タモリ(森田一義)
福岡県出身

タバコは吸わない。お酒は適度に飲む。睡眠はキチンととる。趣味はジャズ、ヨット、料理作り。性格は穏やか。ただし、人と目を合わさず、仕事の打ち合わせもほとんど喋らない。スタッフからは「仕事がやりやすい」と言われる。病名=バーンアウト(ご隠居)。

「バーンアウト」とは「燃え尽き症候群」ともい、目的を遂げてしまおうと無力感・虚脱感に襲われることを指す。

タモリさんは3歳の時に両親が離婚し、おばあさんに育てられた。早稲田大学を中退し、故郷の福岡でボウリング場の支配人をしてながらライブハウスで物まね芸をしている時にマスコミ業界人に見出され上京。イグアナなどの形態模写や寺山修司の物

中国医学の診断法「四診法」

鍼灸治療は心身の状態と病状を把握するため「四診法」を用いる。

①「望診」(ぼうしん)

患者の顔色・目の光沢・耳・舌・爪などを観察する。高血圧の人は顔が赤く、元気な人の目には輝きがあり、体内に熱がこもっていると耳に紅い斑点が現れる。

②「聞診」(ぶんしん)

声や呼吸音を聞く。そして、口臭や体臭を嗅ぐ。食道に疾患があるとかすれ声、呼吸器に疾患があると「ぜーぜー」という喘息など。口臭は消化器疾患。

③「問診」(もんしん)

患者や家族から「疾患」の情報を得る。キーポイントは睡眠・便・血圧・生理・ストレスの有無。

④「切診」(せつしん)

患者の体に触れて、体内の状態を把握する。脈の速さ、筋の硬結(こうけつ)、手足のしびれ、体の動きや硬さ、やわらかさを診る。



ビートたけし(北野武)

東京都足立区出身
タバコは禁煙と喫煙の繰り返し。お酒を飲む時はトコトコ飲む。睡眠はほとんどとらない(仮眠程度)。趣味はピアノ、絵画、タップダンス。性格はシャイで、人情深く、常にスタッフや出演のタレントを気遣う。ただし、シャイなので目は合わさないとぼそぼそ喋る。病名=チック。

こうしてテレビの画面を通してタレントの表情や癖をながめて、誰れが楽しい仕事であるかは苦しい仕事をしているのか、そしてその「疾病」を観察するのも面白い。

たけしさんの首をカクカクさせる癖は「チック」といい、心身の抑圧状態から生じる動作。強烈な個性を持つ母親さきさんの過度の期待から、子供の頃からチックは出ていたと推測される。ツビーとチックとして爆発的に売れ、いまや世界の北野武。当分「チック」は治まりそうにない。

ビートたけしは「チック」

まねで二世を風靡し、異様なまでの迫力での上がってきたのだが、今は肩の力を抜き淡々と司会業をこなしている。実にサラリーマン的であり、ご隠居と呼ぶにふさわしい。